



2022年12月5・6日 | 横浜

2022 スポンサーシップ ガイド

目次

すべての体験が素晴らしかった。世界中のテクノロジーについてたくさんのことを学んだ。Open Source Summit Japan + Automotive Linux Summitを同僚全員に勧めてしまった。

Open Source Summit について	3
スポンサーになる意義	4
Open Source Summit の参加者	5
Open Source Summit に参加する理由	5
参加者の統計データ	6
ダイバーシティ & インクルージョン	7
スポンサーシップ概要	8
プロモーション マーケティング	14
「マイクロ」カンファレンスのスポンサーシップ	15
これまでのスポンサー	16
メディアの取材・報道	17
これまでの参加者の声	18
スポンサーシップ バンドルとカスタム パッケージ	19



Open Source Summit について

2022年12月5 - 6日 | 横浜

オープンソースの開発者・技術者・経営陣が協力し、情報を共有し、知識を高め、ソフトウェア開発におけるオープンソース イノベーションを促進し、サステナブルなオープンソース エコシステムの構築を支援するプレミア イベントです。まさにオープンソース コードとコミュニティ コントリビューターのための集いです。ぜひご参加ください。まさにオープンソース コードとコミュニティ コントリビューターのための集いです。

OPEN SOURCE SUMMIT は、重要な技術や今日のオープンソースに影響を及ぼすトピックや問題を取り上げる数々のイベントで形成されている総合的カンファレンスです。

OS Summit Japan 2022 傘下のイベントには以下のものが含まれます。

- **LINUXCON**
- **AUTOMOTIVE
LINUX SUMMIT**
- **CLOUDOPEN**
- **CONTAINERCON**
- **OSPOCON**
- **CRITICAL SOFTWARE
SUMMIT**
- **COMMUNITY
LEADERSHIP
CONFERENCE**
- **EMERGING
OS FORUM**
- **EMBEDDED
IOT SUMMIT**
- **OPEN AI +
DATA FORUM**

スポンサーになる意義

Open Source Summit のスポンサーになることにより、多様かつ多面的なオープンソース プラクティショナーに一度に自社の情報を届けることができます。

多くの組織が Open Source Summit で扱っている技術分野に関わっているため、1つのイベントでたくさんのコミュニティとつながることができます。



ブランドの知名度・認知度を強化できる



アイデアや思想を発信・共有できる



優秀な人材を発掘・獲得できる



セールス リードと顧客を創出できる



ターゲットを絞ったマーケティングが可能



メディア露出やプレス発表を活用できる



最新の製品、サービス、テクノロジーを紹介できる



新しいパートナーシップとアライアンスを構築できる



開発者、技術者、およびビジネス リーダーから貴重なマインドシェアを獲得・学習できる



オープンソース コミュニティの重要な作業に対するサポートをアピールできる

“非常に優れた有能な参加者に出会い、業界のリーダーから直接学ぶことができました。イベントを成功させるためにイベントチームとスポンサーシップ チームは最善を尽くしてくれました。今後もLinux Foundation のイベントが楽しみです。”

Open Source Summit の参加者:

開発者

システム、組み込み、アプリケーション、カーネルおよびオペレーティングシステム

オペレーション

構築、サイト信頼性エンジニアリング (SRE)、システム管理、DevOps

コミュニティ/リーダー

テクニカルマネジャー、コミュニティーマネジャー、エグゼクティブリーダー、法務・コンプライアンス、OSPOチーム

学術関連 / メディア / 他

大学教授、学生、メディア、アナリスト、製品、事業開発、マーケティング

Open Source Summit に参加する理由:

毎年Open Source Summitには何千人もの参加者が以下の目的で集います。

- 実際に会って問題解決、ディスカッション、協力をする。
- オープンソース分野やオープンソーステクノロジーの最新動向について学ぶ。
- 主要な専門家にアクセスして、複雑なオープンソース環境の処理方法を学ぶ。
- 他社がどのようにオープンソースを使用して効率を高め、社内のイノベーションを高めているかを知る。
- 革新的なオープンソリューションやオープンテクノロジーを学ぶことで競争力を高める。
- 業界をリードする企業やプロジェクトがこれから何をしようとしているのか、そしてテクノロジーはどこに向かっているのかを理解する。
- 世界をリードするテクノロジー企業とのキャリア機会を探る。

2021年の参加者アンケート結果

- **98%** の回答者が、会議の内容とセッションが有益で有用であると回答
- **96%** の回答者が、友人や同僚に参加を勧めると回答
- **95%** の回答者が、イベントに参加したことは貴重な時間だったと回答
- **88%** の回答者が、またイベントに参加すると回答

概要

- 2022年参加見込み人数: 来場見込み 2,000名、バーチャル参加見込み 2,000名
- 2019年のOpen Source Summit Japanには40か国、284の組織から1000名超が参加しました。2021年のバーチャルイベントには世界30か国から179の組織、430名以上が参加しました。
- 2019年のスポンサーブースの来訪者数は最も多くて214、平均67、2021年のバーチャルスポンサーブースの来訪者数は最も多くて66、平均36でした。

参加者の統計データ



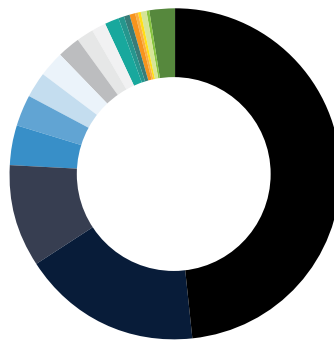
職種

- 開発者 12.96%
- セールス/マーケティング/
ビジネス開発 10.97%
- 学生 5.64%
- 経営幹部 (VP/CxO) 4.49%
- 製品管理 3.87%
- IT 運用 - DevOps 3.66%
- メディア/アナリスト 2.4%
- 法務 /コンプライアンス 2.3%
- IT運用 - システム管理者 2.3%
- プログラムオフィスリーダー
1.36%
- 教授/教員など 1.25%
- その他 6.27%



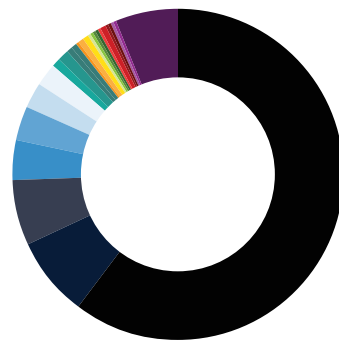
職務レベル

- 個人貢献者 36.57%
- マネージャー 21.53%
- ディレクター 8.57%
- 学術関係者 7.21%
- CXO / ED 5.02%
- VP / SVP / GM 2.82%
- その他 18.29%



業種

- ソフトウェア / インターネット 48.35%
- 自動車 / 輸送 17.52%
- インターネット/Web サービス 10.13%
- 教育 / 研究 3.98%
- メディア / 出版 2.84%
- コンサルティング 2.50%
- 非営利 2.50%
- 電気通信 2.28%
- 銀行 / 金融 / 保険 1.71%
- キャリア / 通信
1.48%
- 工業製造および機械 1.37%
- 政府 / 自治体 0.57%
- 医療 / 医療機器 / Rx 0.57%
- 輸送 / 物流 / 倉庫 0.46%
- 航空宇宙 / 防衛 0.34%
- 協会 / 業界団体 / 財団 0.34%
- エネルギー 0.34%
- 小売り / Eコマース 0.34%
- その他 2.39%



国

- 日本 60.30%
- アメリカ 8.00%
- インド 6.30%
- 韓国 3.90%
- 中国 3.20%
- イギリス 2.50%
- ドイツ 2.20%
- 台湾 1.10%
- フランス 1.00%
- イスラエル 0.50%
- ポーランド 0.50%
- フィンランド 0.50%
- スウェーデン 0.50%
- カナダ 0.40%
- スペイン 0.40%
- アルゼンチン 0.30%
- オーストラリア 0.30%
- カメルーン 0.30%
- コスタリカ 0.30%
- チェコ 0.30%
- ベトナム 0.30%
- 香港 0.20%
- インドネシア 0.20%
- コンボ 0.20%
- オランダ 0.20%
- ナイジェリア 0.20%
- その他 5.9%

“LinuxCon参加者は専門的で知識が豊富です。Redisの利用に関する技術的に掘り下げた話をたくさんしました。そういう議論は他ではなかなかできません。”

* 上記は2019年のOpen Source Summit Japanの統計データです。

ダイバーシティ&インクルージョン

私たちはオープンソース コミュニティをより多様性を尊重し、活かすことのできるコミュニティにしたいと考えており、イベントはそれを達成できる1つの方法だと考えています。そのため、ステージ上でも客席においても多様性を尊重しあうことがOpen Source Summitを成功させる上で最重要であると考えています。

2021年のOpen Source Summit では

31%
の基調講演のスピーカー
が女性でした
50%
が非白人でした

22%
のカンファレンススピーカー
は女性またはノンバイナリー
でした

13%*
の参加者が女性または
ノンバイナリーでした

“多様性を尊重、推進しているようにワクワクします!”

“多様性の尊重と 推進を重要視していることが言葉や行動に表れていました。素晴らしいです!”

*上記の性別に関する質問は、参加申込書で「回答しない」を選択、または何も記入しないことができる項目のため、実際にはこの数字よりも多い可能性があります。

会場における健康と安全

全てのイベント参加者の健康と安全が私たちにとっての最重要課題です。今年も参加者の皆さんの安全と健康を守るために ワクチン接種の必要性やマスク着用義務などを含む健康と安全に関する実施要項を作成しました。このイベントの実施要項に関する最新情報についてはイベント ウェブサイトをご確認ください。

スポンサーシップ概要

スポンサーシップのお申し込みについては

sponsorships@linuxfoundation.org までお問い合わせください。

	ダイヤモンド 4枠 3枠	プラチナ 8枠 7枠	ゴールド 10枠	シルバー 制限なし	ブロンズ 制限なし
イベントでのプレス予約のサポート: イベントの発表を最大限に活用するのに役立ちます。	・				
カンファレンス前後のEメール送信: The Linux Foundationがオプティン メーリングリストに送信します。	・	・			
オープニング基調講演でスポンサーとして紹介: スポンサー名をご紹介します。	・	・			
イベント後の参加者アンケートにカスタム質問を追加できる: ご希望の質問 (事前にThe Linux Foundation の承認が必要) を追加することができ、フォローアップ レポートでデータ結果が提供されます。	2	1			
講演の機会: 対面講演+録画 / バーチャル プラットフォームでストーリーミングができます。内容についてはPC とLFの承認が必要。(講演枠の残数に左右されます。)	15分間の基調講演	5分間の基調講演またはカンファレンスセッション	カンファレンスセッションまたはBoF		
ソーシャルメディアの再共有: The Linux FoundationのTwitterアカウントが、スポンサーの選択した1件の投稿をリツイートします。タイミングはThe Linux Foundationが決定します。	・	・	・		
プレスリリースでスポンサー名をアピール: リリース本文にスポンサーとして掲載されます。	・	・	・		
会議室**: プライベートな会議に利用できます。	プライベート利用 - 2 日	プライベート利用 - 1 日	プライベート利用 - 4 時間		
ソーシャル メディアでスポンサーシップをアピール: The Linux FoundationのTwitterより。スポンサーはカスタム コンテンツを提供できます (The Linux Foundationによる承認が必要)。	3	2	1 (共有投稿)		
基調講演のステージでアピール: 大きな企業ロゴがステージスクリーンやバーチャルディスプレイに表示されます。	・	・	・	・	
販促資料の配布**: 会場受付付近の目立つ場所やバーチャル プラットフォームに配置します。	・	・	・	・	
イベント前のEメール マーケティングで認知度をアップ: 企業サイト URLにリンクを張ります。	・	・	・	・	・
イベントの取材記者/アナリストのリストを提供: イベントの一週間前にコンタクト リストを共有します。	・	・	・	・	・
イベント会場での看板、バーチャル プラットフォーム、Webサイトで認知度アップ: イベントWebサイトでの目立つロゴ表示や、会場およびバーチャルプラットフォームに看板を設置します。	・	・	・	・	・
展示ブース**: カウンターとサイネージ、スツールが付きます。ブロンズスポンサーにはテーブルとイスのみ提供されます。(アップグレード可能) 2022年はバーチャル ブースはありません。	約 3m x 3m	約 3m x 3m	約 2.4m x 2.4m	約 2.4m x 2.4m	テーブル
来場者データ スキャナー**: ライブスキャン、リアルタイム レポート、およびキャプチャした来場者データの保存が可能です。	2	1	1	1	1
カンファレンス招待券: 社員や顧客がカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。	30	20	15	10	5
バーチャル カンファレンス招待券: 社員や顧客がバーチャル カンファレンスにフルアクセスできる招待券です。	60	40	30	20	10
追加参加者の入場料を20%割引: 顧客、パートナー、同僚の方などが利用できます。	・	・	・	・	・
イベント後のデータレポート: イベントの人口統計とイベントのパフォーマンスに関する詳細情報が提供されます。	・	・	・	・	・
スポンサーシップ料金	\$50,000	\$35,000	\$22,500	\$15,000	\$8,000

*契約時に以下の3つの条件を満たしているスタートアップ企業は、ブロンズ スポンサーシップを4,000米ドルで確保できます。(1) 事業期間が3年未満である。(2) 年間収益が500万ドル未満である。(3) 従業員が30人未満である。 ** COVID-19感染予防のための安全対策とソーシャル ディスタンスを保つなどの必要条件に従う。

ダイヤモンドスポンサーシップの詳細

43枠 / \$50,000

マーケティングとブランド露出:

- ・**イベントでのプレス予約のサポート:** イベントの発表を最大限に活用するのに役立ちます。
- ・**カンファレンス前後のEメール送信:** The Linux Foundationがオプトイン メールリングリストに送信します。
- ・**全イベントWebページと全イベントEメールプロモーションに企業ロゴを掲載:** ロゴは企業URLにリンクされます。
- ・**ソーシャルメディアでスポンサーシップをアピール(3回):** The Linux FoundationのTwitterより。スポンサーはカスタムコンテンツを提供できます。(The Linux Foundationによる承認が必要)。
- ・**ソーシャルメディアでの再共有:** The Linux FoundationのTwitterアカウントが、スポンサーの選択した1件の投稿をリツイートします。タイミングはThe Linux Foundationが決定します。
- ・**プレスリリースでスポンサー名をアピール:** リリース本文にスポンサーとして掲載されます。
- ・**イベント前のEメールマーケティングで認知度をアップ:** 企業サイトURLにリンクを張ります。
- ・**イベントの取材記者/アナリストのリストを提供:** イベントの一週間前にコンタクトリストを共有します。

オンサイトにおけるメリット:

- ・**イベント会場での看板、バーチャルプラットフォーム、Webサイトで認知度アップ:** イベント Webサイトでの目立つロゴ表示や、会場およびバーチャルプラットフォームに看板を設置します。
- ・**オープニング基調講演でスポンサーとして紹介:** スポンサー名をご紹介します。
- ・**基調講演のステージでアピール:** ロゴを目立つように表示します。
- ・**販促資料の配布:** 会場受付付近の目立つ場所やバーチャルプラットフォームに配置します。
- ・**約3m x 3m 展示ブース:** カウンターとサイネージ、スツールが付きます。(アップグレード可能) 2022年はバーチャルブースはありません。
- ・**専用会議室:** VIP客の接待やプライベートな会議のための会議室をイベント期間を通してご利用頂けます。

講演の機会:

- ・**講演の機会:** 15分間の基調講演: 対面講演+録画/バーチャルプラットフォームでストリーミングができます。内容についてはPCとLFの承認が必要。(講演枠の残数に左右されます。)

リードの生成:

- ・**来場者データ スキャナー2台:** ライブスキャン、リアルタイム レポート、およびキャプチャした来場者データの保存が可能です。

イベントへのアクセスと知識共有:

- ・**30通のカンファレンス招待券:** 社員や顧客がカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。
- ・**60通のバーチャルカンファレンス招待券:** 社員や顧客がバーチャルカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。
- ・**追加参加者の入場料を20% 割引:** 顧客、パートナー、同僚の方などが利用できます。
- ・**イベント後の参加者アンケートに2つのカスタム質問を追加可能:** フォローアップ レポートでデータ結果が提供されます。質問は、The Linux Foundation によって承認される必要があります。
- ・**イベント後のデータレポート:** イベントの人口統計とイベントのパフォーマンスに関する詳細情報が提供されます。

すべてのダイヤモンド スポンサーに講演の機会があります: 15分の基調講演!*

*スポンサーのコンテンツはプログラム委員会とThe Linux Foundationの承認を受ける必要があります。

プラチナ スポンサーシップの詳細

87枠 / \$35,000

マーケティングとブランド露出:

- **カンファレンス前後のEメール送信:** The Linux Foundationがオプトイン メーリングリストに送信します。
- **全イベントWebページと全イベントEメール プロモーションに企業ロゴを掲載:** ロゴは企業URLにリンクされます。
- **ソーシャル メディアでスポンサーシップをアピール(2回):** The Linux FoundationのTwitterより。スポンサーはカスタムコンテンツを提供できます。(The Linux Foundationによる承認が必要)。
- **ソーシャル メディアでの再共有:** The Linux FoundationのTwitter アカウントが、スポンサーの選択した1件の投稿をリツイートします。タイミングはThe Linux Foundationが決定します。
- **プレスリリースでスポンサー名をアピール:** リリース本文にスポンサーとして掲載されます。
- **イベント前のEメール マーケティングで認知度をアップ:** 企業サイトURLにリンクを張ります。
- **イベントの取材記者/アナリストのリストを提供:** イベントの一週間前にコンタクトリストを共有します。

オンサイトにおけるメリット:

- **イベント会場での看板、バーチャル プラットフォーム、Web サイトで認知度アップ:** イベント Webサイトでの目立つロゴ表示や、会場およびバーチャル プラットフォームに看板を設置します。
- **オープニング基調講演でスポンサーとして紹介:** スポンサー名をご紹介します。
- **基調講演のステージでアピール:** ロゴを目立つように表示します。
- **販促資料の配布:** 会場受付付近の目立つ場所やバーチャルプラットフォームに配置します。
- **約3m x 3m 展示ブース:** カウンターとサイネージ、スツールが付きます。(アップグレード可能) 2022年はバーチャルブースはありません。
- **専用会議室:** VIP客の接待やプライベートな会議のための会議室をイベント期間中どちらか一日ご利用頂けます。

講演の機会:

- **講演の機会:** 5分間の基調講演又はカンファレンス セッション: 対面講演+録画 / バーチャル プラットフォームでストリーミングができます。内容についてはPC とLFの承認が必要。(講演枠の残数に左右されます。)

リードの生成:

- **来場者データ スキャナー1台:** ライブ スキャン、リアルタイムレポート、およびキャプチャした来場者データの保存が可能です。

イベントへのアクセスと知識共有:

- **20通のカンファレンス招待券:** 社員や顧客がカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。
- **40通のバーチャル カンファレンス招待券:** 社員や顧客がバーチャルカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。
- **追加参加者の入場料を20% 割引:** 顧客、パートナー、同僚の方などが利用できます。
- **イベント後の参加者アンケートに1つのカスタム質問を追加可能:** フォローアップレポートでデータ結果が提供されます。質問は、The Linux Foundation によって承認される必要があります。
- **イベント後のデータレポート:** イベントの人口統計とイベントのパフォーマンスに関する詳細情報が提供されます。

**すべてのプラチナ スポンサーに講演の機会:
5分間の基調講演又はカンファレンスセッション!**

***すべてのスポンサーのコンテンツは、プログラム委員会と
The Linux Foundation の承認を受ける必要があります。**

ゴールドスポンサーシップの詳細

10枠 / \$22,500

マーケティングとブランド露出:

・全イベントWebページと全イベントEメール プロモーションに
企業ロゴを掲載: ロゴは企業URLにリンクされます。

・ソーシャル メディアでスポンサーシップをアピール(1回)

共有投稿: The Linux FoundationのTwitterより。
スポンサーはカスタムコンテンツを提供できます。
(The Linux Foundationによる承認が必要)。

・ソーシャルメディアでの再共有: The Linux Foundationの
Twitter アカウントが、スポンサーの選択した1件の投稿をリ
ツイートします。タイミングはThe Linux Foundationが決定
します。

・プレスリリースでスポンサー名をアピール: リリース本文にス
ポンサーとして掲載されます。

・イベント前のEメール マーケティングで認知度をアップ: 企業
サイトURLにリンクを張ります。

・イベントの取材記者/アナリストのリストを提供: イベントの一
週間前にコンタクト リストを共有します。

オンサイトにおけるメリット:

・イベント会場での看板、バーチャル プラットフォーム、Web
サイトで認知度アップ: イベント Webサイトでの目立つロゴ
表示や、会場およびバーチャル プラットフォームに看板を設
置します。

・オープニング基調講演でスポンサーとして紹介: スポンサー
名をご紹介します。

・基調講演のステージでアピール: ロゴを目立つように表示
します。

・販促資料の配布: 会場受付付近の目立つ場所やバーチャル
プラットフォームに配置します。

・約2.4m x 2.4m展示ブース: カウンターとサイネージ、スツ
ールが付きます。(アップグレード可能) 2022年はバーチャ
ル ブースはありません。

・共同会議室: VIP客の接待やプライベートな会議のための
会議室をイベント期間中4時間までご利用頂けます。

講演の機会:

・講演の機会: カンファレンス セッションまたはBoF: 対面+録画 /バ
ーチャル プラットフォームでストリーミングができます。内容につ
いてはPC とLFの承認が必要。(講演枠の残数に左右されます。)

リードの生成:

・来場者データ スキャナー1台: ライブ スキャン、リアルタイム レポー
ト、およびキャプチャした来場者データの保存が可能です。

イベントへのアクセスと知識共有:

・15通のカンファレンス招待券: 社員や顧客がカンファレンスにフルア
クセスできる招待券です。

・30通のバーチャル カンファレンス招待券: 社員や顧客がバーチャル
カンファレンスにフルアクセスできる招待券です。

・追加参加者の入場料を20% 割引: 顧客、パートナー、同僚の方など
が利用できます。

・イベント後のデータレポート: イベントの人口統計とイベントのパフ
オーマンスに関する詳細情報が提供されます。

すべてのゴールド スポンサーに講演の機会:
カンファレンス セッションまたはBoF!

*すべてのスポンサーのコンテンツは、プログラム委員会と
The Linux Foundation の承認を受ける必要があります。

シルバー スポンサーシップの詳細

枠数の制限なし / \$15,000

マーケティングとブランド露出:

- 全イベントWebページと全イベントEメール プロモーションに企業ロゴを掲載: ロゴは企業URLにリンクされます。
- イベント前のEメール マーケティングで認知度をアップ: 企業サイトURLにリンクを張ります。
- イベントの取材記者/アナリストのリストを提供: イベントの一週間前にコンタクトリストを共有します。

オンサイトにおけるメリット:

- イベント会場での看板、バーチャル プラットフォーム、ウェブサイトで認知度アップ: イベント ウェブサイトでの目立つロゴ表示や、会場およびバーチャル プラットフォームに看板を設置します。
- 基調講演のステージでアピール: ロゴを目立つように表示します。
- 販促資料の配布: 会場受付付近の目立つ場所やバーチャルプラットフォームに配置します。
- 約2.4m x 2.4m展示ブース: カウンターとサイネージ、スツールが付きます。(アップグレード可能) 2022年はバーチャルブースはありません。

リードの生成:

- 来場者データ スキャナー1台: ライブ スキャン、リアルタイム レポート、およびキャプチャした来場者データの保存が可能です。

イベントへのアクセスと知識共有:

- 10通のカンファレンス招待券: 社員や顧客がカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。
- 20通のバーチャル カンファレンス招待券: 社員や顧客がバーチャルカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。
- 追加参加者の入場料を20% 割引: 顧客、パートナー、同僚の方などが利用できます。
- イベント後のデータレポート: イベントの人口統計とイベントのパフォーマンスに関する詳細情報が提供されます。



ブロンズスポンサーシップの詳細

マーケティングとブランド露出:

- 全イベントWebページと全イベントEメール プロモーションに企業ロゴを掲載: ロゴは企業URLにリンクされます。
- イベント前のEメール マーケティングで認知度をアップ: 企業サイトURLにリンクを張ります。
- イベントの取材記者/アナリストのリストを提供: イベントの一週間前にコンタクト リストを共有します。

オンサイトにおけるメリット:

- イベント会場での看板、バーチャル プラットフォーム、Web サイトで認知度アップ: イベントWebサイトでの目立つロゴ表示や、会場およびバーチャル プラットフォームに看板を設置します。
- 販促資料の配布: 会場受付付近の目立つ場所やバーチャルプラットフォームに配置します。
- テーブル展示: テーブルと椅子をご利用いただけます。(アップグレード可能) 2022年はバーチャル ブースはありません。

リードの生成:

- 来場者データスキャナー1台: ライブ スキャン、リアルタイム レポート、およびキャプチャした来場者データの保存が可能です。

イベントへのアクセスと知識共有:

- 5通のカンファレンス招待券: 社員や顧客がカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。
- 10通のバーチャル カンファレンス招待券: 社員や顧客がバーチャルカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。
- 追加参加者の入場料を20% 割引: 顧客、パートナー、同僚の方などが利用できます。
- イベント後のデータレポート: イベントの人口統計とイベントのパフォーマンスに関する詳細情報が提供されます。



プロモーション マーケティング

下記のオプションには、それぞれ2名分のカンファレンス招待券が含まれています。



Open Source Summit Speed Networking & Mentoring セッション \$2,000・1 枠

スポンサーは、セッションで紹介され、セッションで販促グッズを配布する機会があります。また、Webサイトとサイネージにロゴが掲載されます。



Women in Open Source Lunch (女性対象のランチ会)** \$10,000・1 枠

オープンソースの未来を創造する当コミュニティの女性への支援をアピールしましょう。ランチ タイムにスポンサーのサイネージが展示され、アナウンスもされます。



基調講演のライブストリームと録画 \$7,000・1 枠

実際に来場できないスポンサー企業にとっても良いスポンサーシップの機会です。ライブストリームのホームページとイベントWebサイトにロゴ掲載、2通のカンファレンス招待券、会場でのロゴ表示が含まれます。スポンサーは、この録画データのコードを自社のWebサイトや宣伝資料に組み込んで使用できます。



名札用ストラップ \$8,000・1 枠

来場者が身につける名札のストラップに単色の企業ロゴが印刷されます。フルカラーのロゴ印刷も追加料金でご利用になれます。

*こちらはイベント スポンサー向けのアドオン オプションです。



参加者用Tシャツ \$10,000・イベント スポンサー \$15,000・イベント スポンサー以外

私たちのデザイナーは何年も着ることができる楽しいTシャツを作っています。Tシャツの袖にスポンサー企業のロゴが単色印刷されます。フルカラーのロゴ印刷も追加料金でご利用になれます。



オンサイト ハッピーアワー & オンサイトレセプション \$10,000・1 枠

テクノロジー ショーケースのハッピーアワーで貴社のブランド知名度を上げましょう。イブニング タイムのひとときに来場者においしい食事や飲み物を提供するオプションです。企業ブランド名入りの看板が設置されます。



ブレックファスト&ブレイク \$15,000・2 枠

朝食エリアやブレイク エリアにブランド名入り大型看板が設置され、イベントのWebサイトでもアピールされます。

*こちらはイベント スポンサー向けのアドオン オプションです。



ダイバーシティ スカラーシップ \$2,500 より・制限なし

スカラーシップ プログラムは、女性やジェンダー ノンコンフォーミング、体の不自由な方、その他の社会少数者や、経済的な理由でイベントに参加する機会のない方たちを援助します。貴社のスカラーシップに対する支援をアピールできます。スポンサーになると：

- ・イベントWebサイトにロゴとリンクが掲載されます。
- ・基調講演の前後にロゴ認知のためのスライドが流れます。
- ・スカラーシップ申請の承諾通知の際にスポンサー名を紹介します。

**COVID-19 セーフティ+ ソーシャル ディスタンスの要件に従うことで許可されます。

Open Source Summit 「マイクロ」カンファレンス スポンサーシップについて

Open Source Summit のスポンサーシップに加えて、もしくは その代わりに、Open Source Summit 内のマイクロ カンファレンスのスポンサーになることで特定分野を支援することもできます。

- LINUXCON
- AUTOMOTIVE LINUX SUMMIT
- CLOUDOPEN
- CONTAINERCON
- OSPOCON
- CRITICAL SOFTWARE SUMMIT
- COMMUNITY LEADERSHIP CONFERENCE
- EMERGING OS FORUM
- EMBEDDED IOT SUMMIT
- OPEN AI + DATA FORUM

プリンシパル 1つのマイクロ カンファレンスにつき3枠	サポーター 1つのマイクロ カンファレンスにつき8枠
• 選択したマイクロ カンファレンスのカンファレンス ルームの外側に大きく スポンサー企業のロゴ入りサイネージを設置します。	• 選択したマイクロ カンファレンスのカンファレンス ルームの外側にミディアムサイズのロゴ入りサイネージを設置します。
• マイクロ カンファレンスのWebページおよびイベントのプロモーション資料にロゴを掲載します。	• マイクロ カンファレンスのWebページおよびイベントのプロモーション資料にロゴを掲載します。
• カンファレンスのビデオ録画でブランディング: 選択したマイクロ カンファレンスのビデオ録画のすべてのオープニング スライドにロゴが掲載されます。ビデオは、何千人もの視聴者を有するThe Linux Foundation のYouTubeチャンネルで一般公開されます。	• 2通のOpen Source Summit のカンファレンス招待券
• ソーシャルメディアでプロモーション: LF Twitterアカウントにてスポンサーシップを1回プロモーションします。スポンサーはカスタム コンテンツを提供できます。(The Linux Foundationによる承認が必要)	
• 3 通のOpen Source Summit のカンファレンス招待券	
\$10,000	\$5,000

これまでのスポンサー



メディアの取材・報道

イベント取材しているグローバルメディアの前で自社の告知やニュースを共有できます。

従来の参加メディア:

ASCII

 **at market**

 **CodeZine**
デベロッパーの成長と課題解決に貢献するメディア

Handelsblatt
III MEDIA GROUP

ITmedia

Jiji.ng

MKT
INTERNATIONAL

 **MONOist**

NIKKEI BP

 **REUTERS®**

シンクイット
ThinkIT
think co.jp

2021年のイベント期間(2021年11月30日から12月31日)の反響:

24.4M

#ossummit のTwitter
インプレッション

20.3M

#autolinux のTwitter
インプレッション

これまでの参加者の声

☞ 素晴らしいイベントに参加できて楽しかったです。間違いなく非常に豊かな経験になりました。ありがとうございました。

OSS に参加すると新しいアイデアがどんどん湧きます。何が重要でそれを達成するにはどうしたらよいのかが明確になります。

☞ 学びたいのであれば OSS に来るべきです。プレゼンテーションを聞いて知識が広がりました。

Open Source Summit と ELC は、学ぶことができ、世界中のオープンソースの熱
烈な支持者とのネットワークを広げることができる素晴らしいイベントです。

☞ LinuxCon は、さまざまなOSS プロジェクトやテクノロジーを学び、開発者やベン
ダーと会い、重要な連絡先を入手し、交流イベントでは楽しめる他に類のない機
会です。Linux やOSS の背後にいる人や文化、機器について理解を深めたい人
には LinuxCon やその他のLF イベントをお勧めします。

OSS は素晴らしいです。技術レベルの高い人たちが学んだり、ネットワークを作るために
多く集まっています。次回ぜひあなたにも参加してほしいです。この経験はすごいです。

☞ 今年参加したいろいろな人が参加できるカンファレンスの中で一番良かったです。
講演、参加者、スポンサー、プロジェクトが本当に素晴らしかったです。

オープンソースに対する情熱を持つ賢い人たちとつながることができる素晴らしい
イベントです。

☞ 最高のオープンソース イベント。

私は最初からすべての Embedded Linux Conference に参加しています。イベント
参加後にはいつもたくさんの新しいアイデアを持ち帰ります。このイベントは、組み
込み分野に関わる最新のオープンソース プロジェクトを知り、メンテナーや開発者
仲間に出会うのに最適な場です。

2022年のOpen Source Summit のイベントにご参加ください!

北米 | 2022年6月21～24日 | オースティン、テキサス + バーチャル

中南米 | 2022年8月23～24日 | バーチャル

ヨーロッパ | 2022年9月13～16日 | ダブリン、アイルランド + バーチャル

日本 | 2022年12月5～6日 | 横浜 + バーチャル

中国 | 12月未定

スポンサーシップ バンドルとカスタム パッケージ

複数のイベントのスポンサーシップや、カスタム スポンサー パッケージにご興味はありませんか?
バンドル スポンサーシップ パッケージ割引や、カスタム パッケージ サービスを提供しています。

Linux Foundationの企業メンバーは、Linux Foundationイベントのスポンサーシップ割引が適用されます。通常は5%割引、複数のイベントに同時にサインアップすると7%割引になります。

